

2024年度  
滋賀県精神保健福祉士会 第24回総会 議案書

【日 時】 2024年6月8日（土） 13:30～16:30  
【会 場】 ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

## 滋賀県精神保健福祉士会 第24回定期総会

### 次第

13:10～ 受付 ZOOM 開室

13:30～ 定期総会

（（公社）日本精神保健福祉士協会滋賀県支部総会も併せて開催）

会長挨拶

議長選出

第1号議案 2023年度 事業報告（案）

第2号議案 2023年度 会計・監査報告（案）

第3号議案 役員改選

第4号議案 2024年度 事業計画（案）

第5号議案 2024年度 予算（案）

議長解任

（（公社）日本精神保健福祉士協会滋賀県支部総会

14:30～ 休憩

14:45～ 基調講演

テーマ：『精神保健福祉士として災害時にできること』

講 師：社会福祉法人 養和会 理事長 廣江 仁 氏

15:45～ 災害派遣実践報告会

16:45 閉会

# 第1号議案 2023年度 事業報告（案）

## 1 定期総会

2023年6月17日（土）第23回定期総会

第1号議案 2022年度 事業報告（案）

第2号議案 2022年度 会計・監査報告（案）

第3号議案 2023年度 事業計画（案）

第4号議案 2023年度 予算（案）

すべての議案について承認されました。

## 2 理事会

第 1回	2023年 6月17日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM併用
第 2回	2023年 7月25日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM併用
第 3回	2023年 8月22日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM併用
第 4回	2023年 9月20日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM併用
第 5回	2023年10月25日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM併用
第 6回	2023年11月18日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM併用
第 7回	2023年12月21日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM併用
第 8回	2024年 1月18日	書面会議
第 9回	2023年 2月18日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM併用
第10回	2023年 3月28日	ZOOM会議

## 3 各事業

理事会は集合とオンラインを組み合わせながら、遠方の理事も参加しやすい環境で実施し、顔を合わせて検討を行う機会が増え、内容も充実したように思われる。

また、研修会については、全体研修、基幹研修Ⅰ、三団体合同研修、近畿2府4県研修を実施し、オンラインも取り入れながら取り組めたことから、各団体、各会員相互の交流が図れ、資質の向上に寄与したと考える。

### 1) 企画事業（研修等事業）

個々の資質の向上、自己研鑽の機会の確保、会員の交流、精神保健福祉の発展への寄与等の目的のもと、研修等を企画、実施した。

**2023年6月17日 全体研修**

内 容：『精神科病院を収容所から心の医療の場にすること』

講 師：オリブ山病院 横田 泉 氏

グループワーク

### 2023年11月19日 基幹研修Ⅰ

日本精神保健福祉士協会 受託事業

講義1. 「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」

講師：樽井 康彦 氏（龍谷大学・滋賀県精神保健福祉士会理事）

講義2. 「精神保健福祉士の専門性Ⅰ」

講師：知名 純子 氏（医療法人博友会 まるいクリニック）

講義3. 「精神保健福祉士の実践論Ⅰ」

講師：大橋 幸枝 氏（滋賀八幡病院）

北村 侑里子氏（支援センター風）

松井 勇太郎氏（精神保健福祉センター）

演習Ⅰ

### 2023年12月3日 近畿2府4県PSW合同研修会

テーマ：ソーシャルアクション・社会資源の創造の重要性

内 容：2府4県のPSWからの実践報告

「PSWにとっての社会運動とは」

講 師：青木 聖久氏（日本福祉大学）

### 2024年2月18日 全体研修

内 容：精神保健福祉法改正研修

講 師：辻本 哲士 氏（精神保健福祉センター所長）

池田 健太郎氏（滋賀県健康医療福祉部障害福祉課主査）

### 2024年3月3日 滋賀県ソーシャルワーク関連3団体研修

内 容：孤独・孤立に支援者はどう向き合うか

～アウトリーチと伴走型支援の視点から～

講 師：谷口 仁史氏（特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス）

## 2) 広報

滋賀県立精神医療センター・滋賀県立精神保健福祉センターにおいて広報部を組織し、精神保健福祉に関する様々な情報提供や会員同士の交流の場、各種研修実施の報告等を盛り込んだニュースレターの企画から作成・編集・郵送を年数回行っている。

広報誌「とことんPSW」の発行

NO.50 2024年 5月発行

インターネット社会を鑑みて、パソコンからのアクセスだけではなく、携帯電話からもアクセスしやすいようモバイルホームページの機能にも対応している。また、X（旧Twitter）を取得しSNSによる情報発信にも努めた。

各種研修やイベント開催の案内、求人案内等のタイムリーな情報発信に取り組んでいる。

「滋賀県精神保健福祉士会」 ホームページ <http://shiga-psw.org/>

「滋賀県精神保健福祉士会」 Twitter @shigakenmhswkai

### 3) 施策制度検討事業等

理事会において、施策動向等の情報共有や学習に努めた。

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課との協議の場などの機会を持つことは今年度もできず、今後の課題として残っている。

### 4) 組織運営・基盤整備事業

当会の運営、事業執行への対応・組織体制の確立、運営基盤の整備を行うことを目指し、以下の活動に取り組んだ。

#### ① 組織の体制・基盤整備に関すること

会員へのメール配信の整備については、今後も新規入会した会員を中心にメールでの情報伝達等利便性の面からも積極的に取り組んだ。

#### ② 理事会の充実に関すること

今年度も原則月1回理事会を開催し、オンラインと対面のハイブリッド開催など工夫しながら実施した。過去2年間の状況と比べると、顔を合わせて検討を行う機会が増え、内容も充実したように思われる。

## 4 委員派遣・推薦・協力等

以下の関係機関・団体・審議会等について、委員の派遣・推薦・協力をしました。

- ・滋賀県精神保健福祉審議会…委員派遣 梶副会長
- ・滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会…委員派遣 杉山理事
- ・滋賀県社会福祉学会…実行委員、推進委員合同会議、滋賀県社会福祉学会に参加…村田理事
- ・滋賀県運営適正化委員会（あんしんなっとく委員会）…苦情解決合議体委員派遣 岩瀬監事
- ・滋賀県精神医療審査会…委員派遣 梶副会長 後藤氏
- ・滋賀県精神保健福祉協会…理事派遣 池田会長
- ・滋賀県医療観察制度運営連絡協議会…委員派遣 梶副会長
- ・高島市障害支援区分認定審査会…委員推薦 中山氏
- ・草津市障がい支援区分認定審査会…委員推薦 梶副会長
- ・滋賀県リハビリテーション協議会…委員派遣 丹羽理事
- ・滋賀のみんなでつくる精神保健医療福祉チーム事業県内推進チーム会議…委員派遣 一圓氏
- ・湖南地域成年後見制度利用促進協議会…委員派遣 梶副会長
- ・精神保健参与員…推薦

## 5 関係団体等との連携

### 1) 県内関係団体

[3団体関係] 滋賀県社会福祉士会・滋賀県医療ソーシャルワーカー協会

#### (1) 3団体合同研修会 【再掲】

2023年2月25日 滋賀県ソーシャルワーク関連3団体研修

内 容：孤独・孤立に支援者はどう向き合うか

～アウトリーチと伴走型支援の視点から～

講 師：谷口 仁史氏（特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス）

(2) 滋賀県ソーシャルワーカーデーの開催・・・開催されず

## 2) 全国・県外団体

[社団法人日本精神保健福祉士協会（以下 JAPSW）との連携]

支部報告参照

## 6 事務局

以下の業務を行いました。

- ・会員管理業務
- ・会計業務
- ・公文書、資料の管理など事務全般
- ・関係団体との連絡調整
- ・会員へのメール配信（各種案内や求人情報等）

## 7 後援・協賛

## 8 会員数（2024年4月1日現在）

正会員 104名

準会員 1名

賛助会員 2名

## 第2号議案 2023年度滋賀県精神保健福祉士会収支決算書（案）

### 収入

科目	2023年予算額	決算額	差額	説明
会費収入	326,000	196,000	130,000	60名 × 3000円 + 2名 × 2000円 + 過年度分4名 × 3000円
支部活動協力費	75,000	78,000	△ 3,000	52名 × 1,500円
基幹研修Ⅰ委託費	90,000	90,000	0	
雑収入	20,000	7,505	12,495	研修会参加費: 15名 × 500円、利息: 5円
繰越金	565,808	565,808	0	
合計	1,076,808	937,313	139,495	

### 支出

科目	2023年予算額	決算額	差額	説明
運営費				
事務・通信費	70,000	6,730	63,270	切手代、事務用品
使用料・賃貸料	30,000	10,900	19,100	理事会会場費、備品使用料
旅費・交通費	40,000	10,424	29,576	理事会・会議等交通費
負担金	10,000	10,110	△ 110	滋賀県精神保健福祉協会会費、振込手数料110円
予備費	30,000	0	30,000	
小計	180,000	38,164	141,836	
事業費				
総会費	150,000	105,372	44,628	会場費、講師謝礼、交通費等
研修会費	300,000	125,980	174,020	会場費、講師謝礼、交通費等
広報活動費	50,000	8,820	41,180	広報誌郵送代
ホームページ管理費	30,000	0	30,000	
災害対策費	100,000	3,580	96,420	災害対策連絡会交通費
オンライン設備費	50,000	0	50,000	
日本精神保健福祉士協会 入会補助費	75,000	7,500	67,500	1名 × 7500円(半額補助)
予備費	141,808	0	141,808	
小計	896,808	251,252	645,556	
合計	1,076,808	289,416	787,392	

収入決算額 937,313円と支出決算額 289,416円の差額 647,897円は、次年度に繰り越すこととする。

特別会計	
定期預金	201,513

## 2023年度会計監査報告

2023年度滋賀県精神保健福祉士会 会計収支決算において、諸帳簿および証拠書類の監査を行いました結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

2024年 4月 20日

監事 藤高 いっ子 

2024年 5月 23日

監事 門田 利之 

## 第3号議案 役員改選（案）

第21期（2024年総会～2026年総会）

会長	池田 健太郎	(滋賀県 健康医療福祉部 障害福祉課)
副会長	梶 佳意子	(メンタルサポートタイム)
	杉山 更紗	(大津市保健所)
理事	中井 皓太	(滋賀県立精神医療センター)
	村田 和啓	(東近江市 障害福祉課)
	丹羽 崇	(株式会社 クローバー)
	松井 勇太郎	(滋賀県立精神保健福祉センター)
	一圓 義子	(医療法人藤樹会 滋賀里病院)
	石田 修二	(一般社団法人 水口病院)
	藤 聰太	(地域生活支援センター風)
監事	後藤 有加	(あおあお在宅クリニック)
	門田 雅宏	(滋賀県立精神保健福祉センター)

事務局 龍谷大学瀬田学舎から精神保健福祉協会内への移転を検討し、事務局体制を整備する。  
理事会は、必要時に支部運営委員会との同日開催（会則第4条の5を中心とした協議）とする。

# 第4号議案 2024年度 事業計画（案）

## 事業方針

当会会則第3条の目的「本会は、精神保健福祉士の価値・知識・技術に則した専門職として資質の向上に努めると共に、会員相互の交流、関係団体との連携、その他の社会活動を通じ、精神保健福祉の向上に寄与することを目的とする」を達成するため、以下の活動に取り組むことを事業方針とする。

### 1) 精神保健福祉を推進するための取り組み

- ・権利擁護に関する取り組み

施策制度の検討・提言、各種研修会等で会員の資質向上の充実

- ・関係団体との情報交換・協力・協働を目的とした取り組み

日本精神保健福祉士協会滋賀県支部との協力・協働関係を目的とした事業

滋賀県社会福祉士会・滋賀県医療ソーシャルワーカー協会と連携した事業

- ・災害支援に備えた取り組み

日本精神保健福祉士協会との協定に基づいた取り組み

災害対策計画の見直し

### 2) 会員の資質の向上のための取り組み

全体研修・・・担当理事を中心として、会員の協力を得て企画、実施する。

年間概ね2回程度開催する。

委員会活動による勉強会の実施

県内3団体での研修会、ソーシャルワーカーデーの参画

共催や後援事業による研修会等の実施ならびに会員への案内

### 3) 広報活動の充実

年2回ニュースレターの発行、ホームページ・SNSによる情報発信の充実 等

### 4) 事務局機能の移行・充実

- ・会員管理業務…現況調査により、会員登録者数の確定・会費の完全納入をはかる

会費の納入については自動引き落としの検討を行う

- ・組織拡大・ニーズの把握…事業運営・活動に反映できるよう、アンケートや広報誌を活用し、会員のニーズ把握に努める

- ・組織体制の整備…各種規程等の整備に努める

- ・会計業務、公文書、資料の管理など事務全般を行う

- ・関係団体との連絡調整に努める

- ・会員へのメール配信（各種案内や求人情報等）を行う

### 5) 関係団体との連携に関する事業

- ・当会の事業目的にそって、精神保健福祉分野をはじめ、関係団体・諸会議等への委員派

遣や推薦、協力、連携を進める

- ・日本精神保健福祉士協会入会補助事業

日本精神保健福祉士協会滋賀県支部の構成員数が全国 47 位である状況を鑑み、滋賀県精神保健福祉士会の構成員で、日本精神保健福祉士協会に 2024 年度に入会した方を対象として、入会に係る経費の一部を助成し、入会の促進を図る。本事業は、支部活動協力費の予算の範囲内で行うこととする。

## 6) その他必要な事項

- ・訓練施設精神保健福祉士相談業務委託事業

滋賀県労働雇用政策課委託事業。高等技術専門校の人に安心して訓練を受けてもらうことを目的として、精神保健福祉士を派遣するもの。

## 第5号議案 2024年度滋賀県精神保健福祉士会収支予算書（案）

### 収入

科目	2023年予算額	2024年予算額	差額	説明
会費収入	326,000	338,000	12,000	正会員110名×3,000円 その他4名×2,000円
支部活動協力費	75,000	78,000	3,000	52名×1,500円
基幹研修Ⅰ委託費	90,000	0	△ 90,000	
雑収入	20,000	20,000	0	研修会参加費・利息等
繰越金	565,808	647,897	82,089	
合計	1,076,808	1,083,897	7,089	

### 支出

科目	2023年予算額	2024年予算額	差額	説明
運営費				
事務・通信費	70,000	70,000	0	切手・事務用品等
使用料・賃貸料	30,000	30,000	0	理事会会場費等
旅費・交通費	40,000	40,000	0	役員会等交通費
負担金	10,000	10,000	0	精神保健福祉協会会費
予備費	30,000	30,000	0	
小計	180,000	180,000	0	
事業費				
総会費	150,000	100,000	△ 50,000	講師謝礼・交通費、資料等
研修会費	300,000	300,000	0	講師謝礼、会場費等
広報活動費	50,000	50,000	0	会報誌印刷・郵送代等
ホームページ管理費	30,000	30,000	0	
災害対策費	100,000	100,000	0	連絡会・研修参加費、旅費、防災用品等
オンライン設備費	50,000	50,000	0	オンライン会議ソフト契約料等
日本精神保健福祉士協会入会補助費	75,000	67,500	△ 7,500	補助額7,500円×9名分
予備費	141,808	206,397	64,589	
小計	896,808	903,897	7,089	
合計	1,076,808	1,083,897	7,089	

特別会計	
定期預金	201,513